

美幌町第2期国民健康保険データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続きの実施結果

令和6年2月8日から3月8日までの間、「美幌町第2期国民健康保険データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（案）」について、パブリックコメント（意見公募）手続きを実施したところ、1件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する町の考え方を取りまとめましたので、下記のとおりお知らせします。

No.	寄せられた意見	町の考え方	回答
1	医療に対する基本的な考え方が違っている様に感じます。 現在の医療は疾病に対し、検査による数値を基準とし疾病を判定し、症状に対して標準療法を基本として、対処療法がなされております。 ビジネスと考えると確かに効率的であり、医薬品を投与することで症状を緩和する効果を治療と考えられております。 本来なら治療は、症状の根本な原因を発見し、原因を除去することが求められるべき医療と思います。 残念ながら国の政策では、完治させる治療よりビジネスとしての検査の多用、医薬品の大量投与により多くの老人が毎日毎日多種多量の薬を服用する様になっています。 医師も検査、医薬品の処方によりその成績、貢献度が評価されています。 本来人は一人一人違っているのが当たり前です、つまり多様性を尊重すべきなのです。 計画書によくSDGsの表示がなされますが、特定の項目だけを取り上げていますが、本来なら17の目標と179のターゲットを実施出来ないなら失敗なのです。	P.50 第4章 データヘルス計画の目的・目標 本計画は「国民健康保険加入者が特定健診を受診することで自分の健康状態を把握し、生活習慣（食事や運動、睡眠等）の改善や必要な医療機関の受診により生活習慣病の発症や重症化を予防し、生活の質を向上させることで結果として健康寿命が延伸され、医療・介護に要する費用の伸びを抑制する」ことを目的としています。 美幌町においては、生活習慣病の発症や重症化予防を推進するため、特定健診等の保健事業の実施とともに生活習慣病予防の普及啓発に引き続き取り組んでいきます。 P.2 5 SDGsとの関係 SDGsは、特に関係の深い目標を掲げましたが、17の目標とつながるものであることを記載しています。	計画については原案のままとさせていただき、ご意見は今後の施策の進め方等の参考とさせていただきます。